



学校だより

西寺尾第二小学校
2月
令和6年1月25日

私たちにできること

校長 宮崎 里子

巻頭に1月1日に発災した能登半島地震で被災された皆様、ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

新年1月9日冬休み明けの登校初日は、全校児童一同の黙とうによる幕開けとなりました。災害はこの、今の瞬間にも起こるかもしれません。子どもたちの命を預かる私たち学校職員は、常に様々な想定による訓練を行っています。

学校は年度のまとめの時期となり、現在学校運営の振り返りをしているところです。令和6年度の学校予定や行事は3月上旬にはご家庭に向けてお示しをしたいと考えています。その中で昨年から構想していたことのひとつに、例年6月に行っていた土曜参観を11月に移行する計画があります。地域防災拠点訓練と土曜参観の授業日を重ね「防災教育」を行う一日とするためです。今、町内会の皆様をお願いをしているところで、今後詳細を検討する予定です。

簡易トイレ放水の様子



炊き出しの様子



本校は災害が起こった際の地域防災拠点となっていて、年に1回、地域の皆様を中心となり災害に備えた訓練をしています。昨年私も参加しましたが、学校が避難所になった際の簡易トイレ用にプールの水をくみ上げて放水をする様子や、段ボールベッドの組み立て、炊き出し、ペットの避難やごみの処理、発熱者がいた時の動線の計画などを拝見し、この取組は子どもたちも実際に見て学ぶべきだと思いました。

今回の被災地でも小中学生が自分たちのできることを率先して行っている様子が報道されています。避難所新聞を作成し、お年寄りの皆様に勇気づける様子など、子どもたちの前向きな気持ちには心打たれます。そんな子どもたちが安全で安心な生活を取り戻すことができるよう、大人の皆様がいかにご尽力されているか、現場の様子は想像をはるかに超えていると思っています。

被災された皆様に気持ちを馳せ、私も募金をしました。そして、自分の備えについて見直すとともに、日頃より地域の人と人とのつながりを大切にすることが災害に向けた何よりの備えであると改めて思う年始となりました。

1月27日土曜日に実施されるPTA行事「ありがとう西寺尾」では各地域から学校までの道のりを子どもたちと保護者の皆様でごみ拾いをする予定です。学校到着後にはPTAの皆様がご用意くださった焼き芋や、放課後キッズクラブの職員の皆様がご準備くださる豚汁がふるまわれます。多くの地域の方が関わってくださり、焼き芋の支度や校内清掃などにお力を貸して下さっています。また、本年度は地域の有限会社細谷工業様やF-Line株式会社様、放課後キッズクラブ様からも協賛をいただけると伺いました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

日頃よりつながりあい、顔が見える関係をつくるのがきっと、災害に強い街をつくれます。子どもたちを守るためにも、私たち大人が手を携えていきたいと心から思っています。